



2007年6月期第1四半期 決算説明会



株式会社ブロードバンドタワー
大証ヘラクレス（コード番号3776）



平成18年11月10日



ご注意

本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点のものであり変更する可能性、及び本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。投資をする際には、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

第1四半期 進捗状況（連結）
2006年7月～9月

- ・ 主力のプラットフォーム事業が牽引し売上高が前年同期比27%増
- ・ 前年同期（2005年7-9月）において第3サイト開設による顧客からの初期費用売上があったことや、データセンターにおける費用増（傾斜家賃→通常賃料）で営業利益は前年同期割れ
- ・ 一方、ライブドア社の関西第1サイト合意解約により違約金を特別利益に計上し、当期純利益は大幅増加

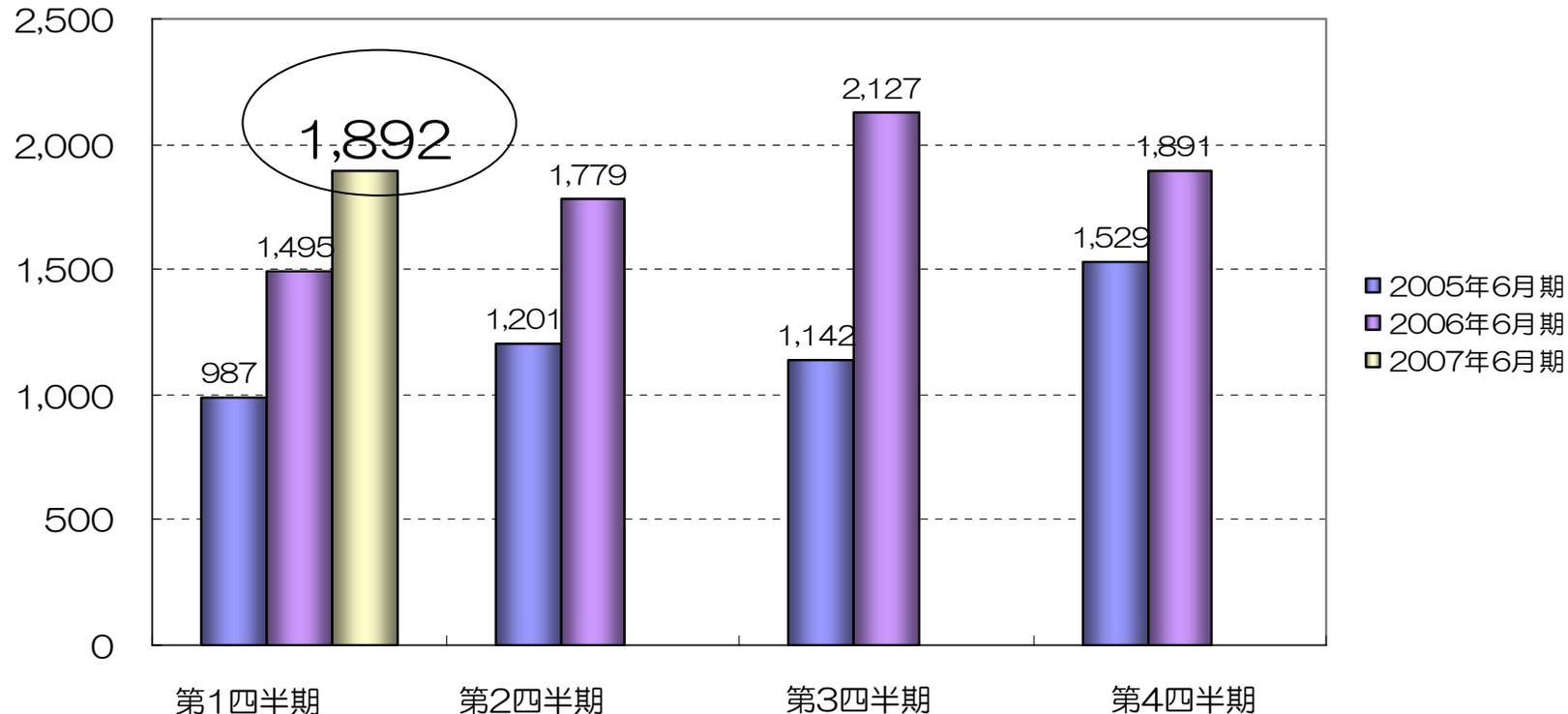
(単位：百万円)

	売上比 当期（第1四半期） 2006年7-9月	売上比 前期（第1四半期） 2005年7-9月	前年同期比	当期（第1四半期） 計画値	計画比
売上高	100% 1,892	100% 1,495	127%	100% 1,830	103%
売上総利益	21% 394	24% 361	109%	19% 350	113%
営業利益	8% 153	12% 180	85%	7% 128	120%
経常利益	8% 153	11% 164	93%	7% 130	118%
税引前当期純利益	101% 1,910	11% 166	1151%	103% 1,890	101%
当期純利益	101% 1,910	11% 166	1151%	103% 1,890	101%

※前期は単体です

主力のプラットフォーム事業が牽引し、前年同期比27%増と堅調

(単位:百万円)



※2006年6月期第1四半期以前は単体です

セグメント別：プラットフォーム事業

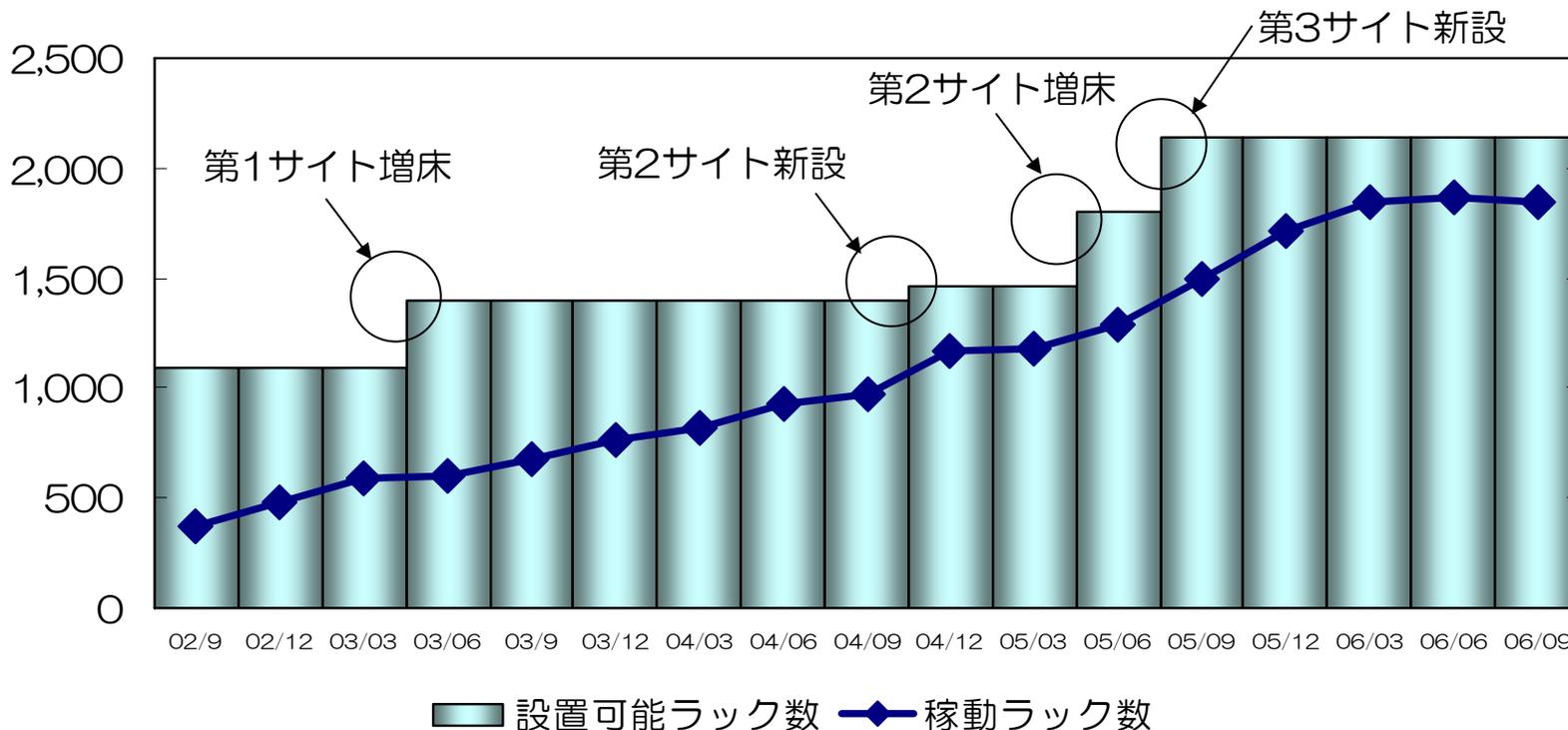
- スペースサービスや、西日本地区のデータセンター運用受託に加え、機器販売が寄与し売上高が前年同期比33%増、一方、前年同期（2005年7-9月）において第3サイト開設による顧客からの初期費用売上があったことや、データセンターにおける費用増（傾斜家賃→通常賃料）で売上高総利益は前年同期比13%増
- 売上高計画1,800百万円に対し、実績1,821百万円

(単位：百万円)

	当期（第1四半期） 2006年7-9月	前期（第1四半期） 2005年7-9月	前年同期比
売上高	1,821	1,371	133%
コロケーションサービス (スペース+ネットワーク)	1,431	1,304	110%
ソリューションサービス	390	66	591%
売上高総利益	382	339	113%
販売ラック数	1,850	1,495	124%

ラック数推移

- ・ 高い稼働率が続く
- ・ 今期は既存サイト拡張及び関西に第1サイトを開設し、顧客の需要に対応



	02/9	02/12	03/03	03/06	03/9	03/12	04/03	04/06	04/09	04/12	05/03	05/06	05/09	05/12	06/03	06/06	06/09
設置可能ラック数	1,095	1,095	1,095	1,393	1,393	1,393	1,393	1,393	1,393	1,459	1,459	1,799	2,141	2,141	2,141	2,141	2,141
稼働ラック数	366	481	593	601	672	759	823	925	971	1,166	1,175	1,287	1,495	1,717	1,846	1,872	1,850
稼働率	33%	44%	54%	43%	48%	54%	59%	66%	70%	80%	81%	72%	70%	80%	86%	87%	86%

※一部顧客の解約が発生
解約率1.1%

- ・2003年に参入したネットシネマ事業は競争が激化、前期末で撤退
- ・今期からWebコンテンツの企画・制作から配信に至るWebメディアのソリューションサービスを強化

(単位：百万円)

	当期（第1四半期） 2006年7-9月	前期（第1四半期） 2005年7-9月	前年同期比
売上高	70	124	56%
配信、Webマーケティング	24	※124	19%
BBF（連結対象子会社）	46	-	-
売上高総利益	13	22	59%

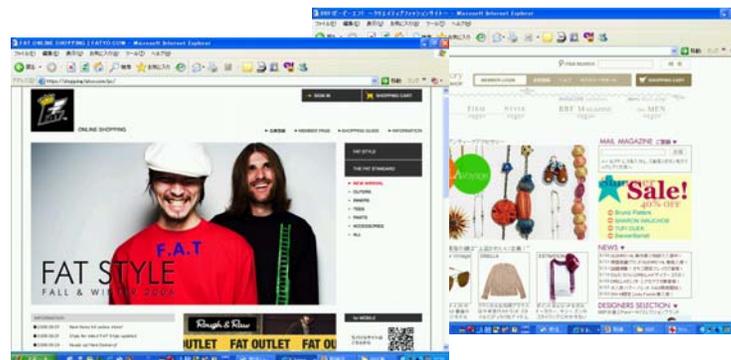
※前期はネットシネマを含みます

Brandnew J
10月2日から本格配信スタート



<http://www.j-wavemusic.com/>

BBFはプラットフォーム提供サービスを強化



2007年6月期第1四半期 B/S



(単位：百万円)

	当期（第1四半期） 2006年9月末	前期 2006年6月末		当期（第1四半期） 2006年9月末	前期 2006年6月末
流動資産	5,184	3,375	流動負債	631	495
現金及び預金	3,913	2,127	買掛金	347	322
売掛金	800	779	その他	284	173
棚卸資産	6	7	固定負債	31	33
前払費用	195	192	長期設備投資未払金	31	33
繰延税金資産	268	268	株主資本	7,668	5,731
その他	0	0	資本金	2,228	2,215
固定資産	3,149	2,888	資本剰余金	2,212	2,199
有形固定資産	2,451	2,432	利益剰余金	3,227	1,316
無形固定資産	28	30	少数株主持分	2	2
投資その他の資産	669	424		2	2
資産合計	8,333	6,263	負債純資産合計	8,333	6,263

「現金及び預金」 売掛債権の回収による増加
 「投資その他資産」 関係会社株式取得

「利益剰余金」 未処分利益の増加

営業活動による主なCF

税金等調整前当期純利益	1,910
減価償却費	99
売上債権の増加	△24
仕入債務の増加	25

投資活動による主なCF

固定資産の取得	△66
関係会社株式の取得	△136

財務活動による主なCF

新株発行による収入	25
-----------	----

(単位：百万円)

	当期（第1四半期） 2006年7-9月	前期（第1四半期） 2005年7-9月	前年同期増減
営業活動によるCF	1,974	6	+ 1,968
投資活動によるCF	▲ 210	▲ 424	+ 214
財務活動によるCF	23	2,122	▲ 2,099
現金等の増加額	1,786	1,703	+ 83
現金等の期首残高	2,127	215	+ 1,912
現金等の期末残高	3,913	1,919	+ 1,994

※前期は単体です

ISILON（ストレージ）の検証用機器や運用受託業務の架台工事など、ソリューションサービス提供に関連した設備に投資

（単位：百万円）

	当期（第1四半期） 2006年7-9月	前期（第1四半期） 2005年7-9月	前年同期増減
設備投資	115	93	+ 22
コロケーションサービス関連 （スペース+ネットワーク）	11	88	▲ 77
ソリューションサービス関連	100	-	▲ 27
その他	4	5	▲ 1
減価償却費	99	84	+ 15

※前期は単体です

2007年6月期の事業展開

今後の事業展開・・・・・・・・・・ P.12

市場環境・・・・・・・・・・ P.14

今期の取組み（プラットフォーム事業） P.17

今期の取組み（メディアソリューション事業） P.26

“不動産型事業” から “ユーティリティ型事業” へシフト

「水道や電気のように使用量に合わせた課金モデル」を目指す

■ユーティリティ型サービス
CPUやストレージなど、必要なリソースをオン・デマンドで提供

■マネージド・ホスティング
■ソリューションサービス

■サーバー設置スペースサービス
■ネットワーク接続サービス

第2サイト拡張予定

関西第1サイト開設予定

インデックスソリューションズPEの子会社化

インフォリスクマネージとの資本業務提携

第3サイトOPEN

第2サイトOPEN

第1サイトOPEN

将来

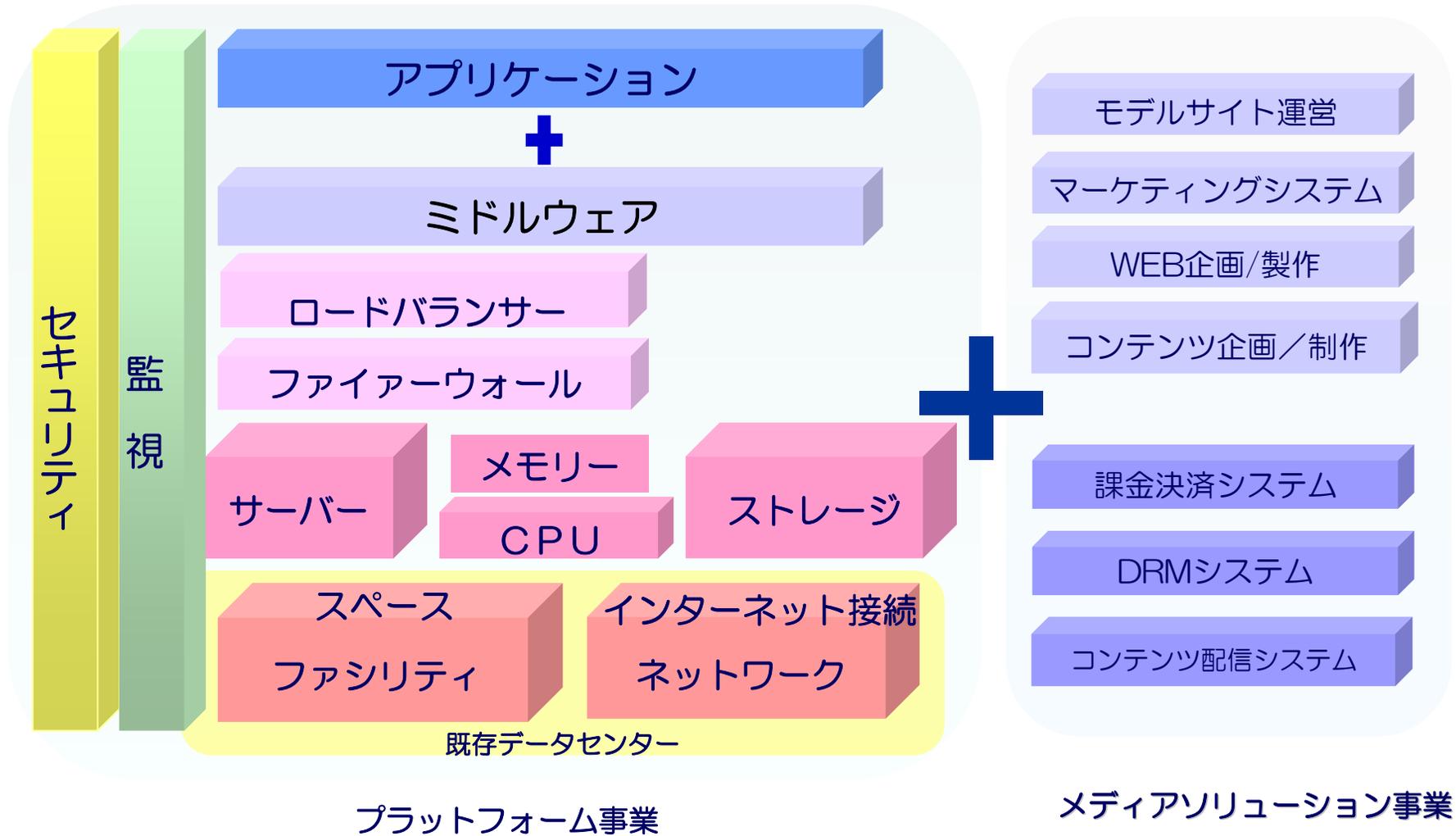
2006年

2002年

2000年

ユーティリティ型サービスモデル イメージ

利用量に応じて課金を行なうオンデマンド型サービス提供を目指す



JSOX問題

内部統制報告書の提出義務化

財務報告にかかわる業務フローを洗い出し、検証した上で、業務プロセスを改善。この一連のプロセスを文書化、報告しなければならない



メール・電子データetcの保管の義務付けによりデータ容量はさらに増加傾向

内部統制報告書制度の動き

2005年12月に内部統制報告書制度の導入に向けた検討開始



2008年4月1日以後に開始する事業年度から経営者による内部統制の評価・報告と外部監査人による監査の義務化



内部統制、SOX法(企業改革法)への対応が迫られ、企業にとって情報管理が急務の課題

(出典:JEITA)

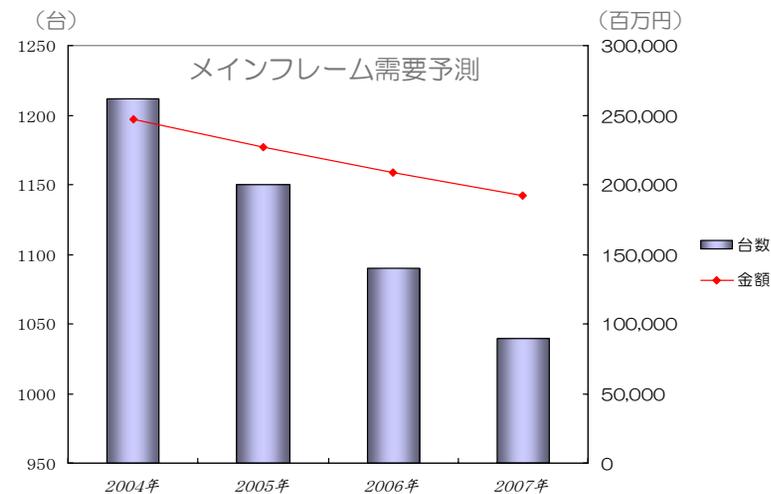
2007年問題

2007年における団塊の世代の
一斉退職に伴い、発生が予想される問題

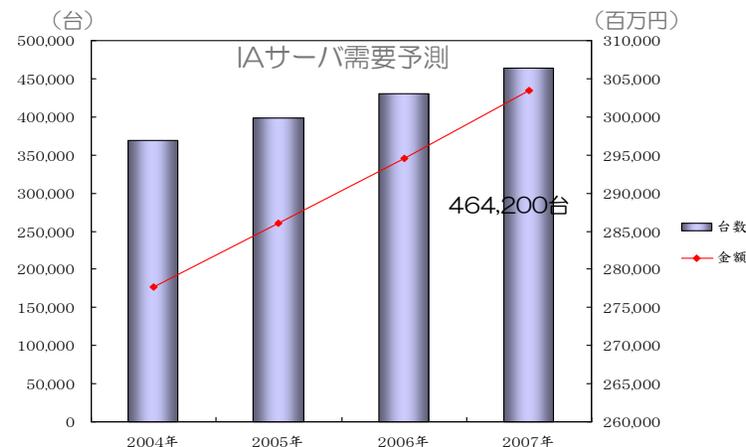


メインフレーム（大型汎用
コンピュータ）からオープン
化への波が加速する

メインフレーム市場は徐々に減少傾向



サーバ需要は継続して増加傾向

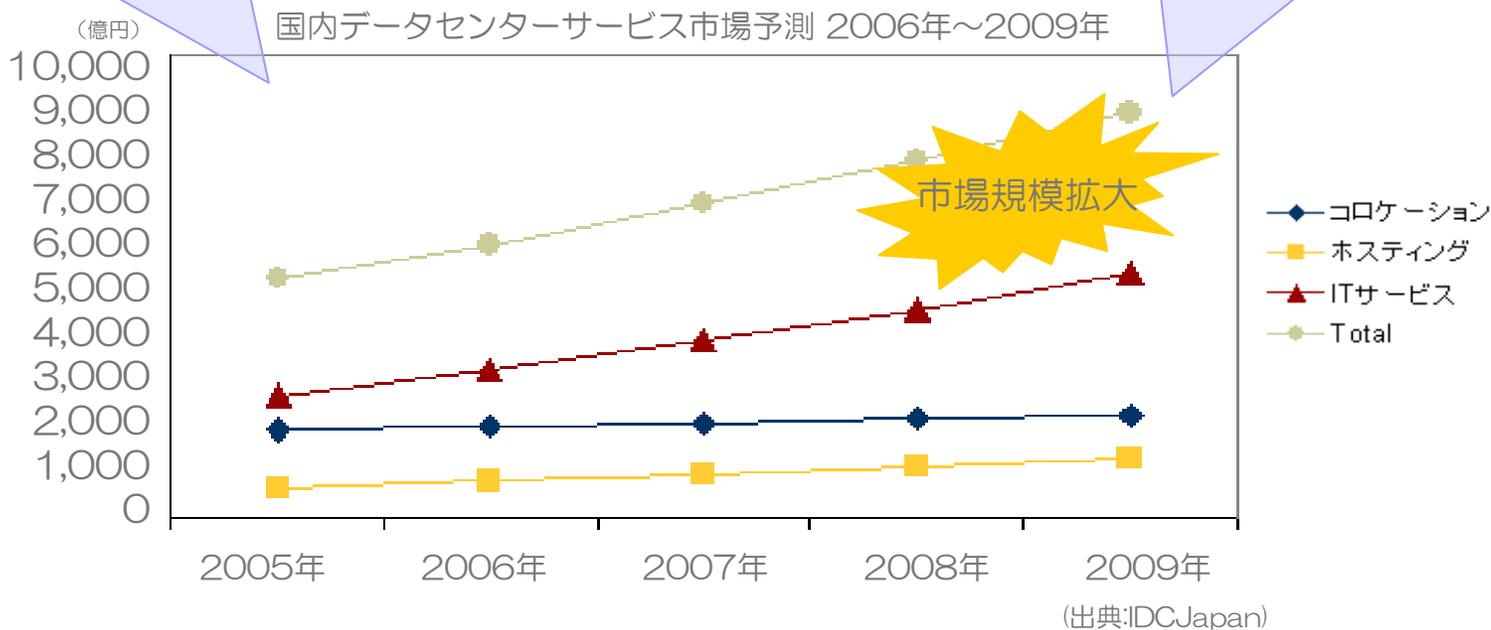


データセンター市場規模

企業は積極的に運用管理のアウトソースを活用。2009年の市場規模は8,754億円と、需要の拡大が予想される。

JSOX法によりメール・電子データetcの保管の義務付けによりデータ容量はさらに増加傾向

2007年問題でメインフレーム（大型汎用コンピュータ）からオープン化への波が加速



①収益向上に向けた事業の強化

売上高計画

前期比24億円増

顧客層の拡大
サービスメニュー拡大

- ・営業力の強化
- ・ストレージ機器の販売、及びASPサービス提供検討

重点課題

②データセンター拡大への積極投資

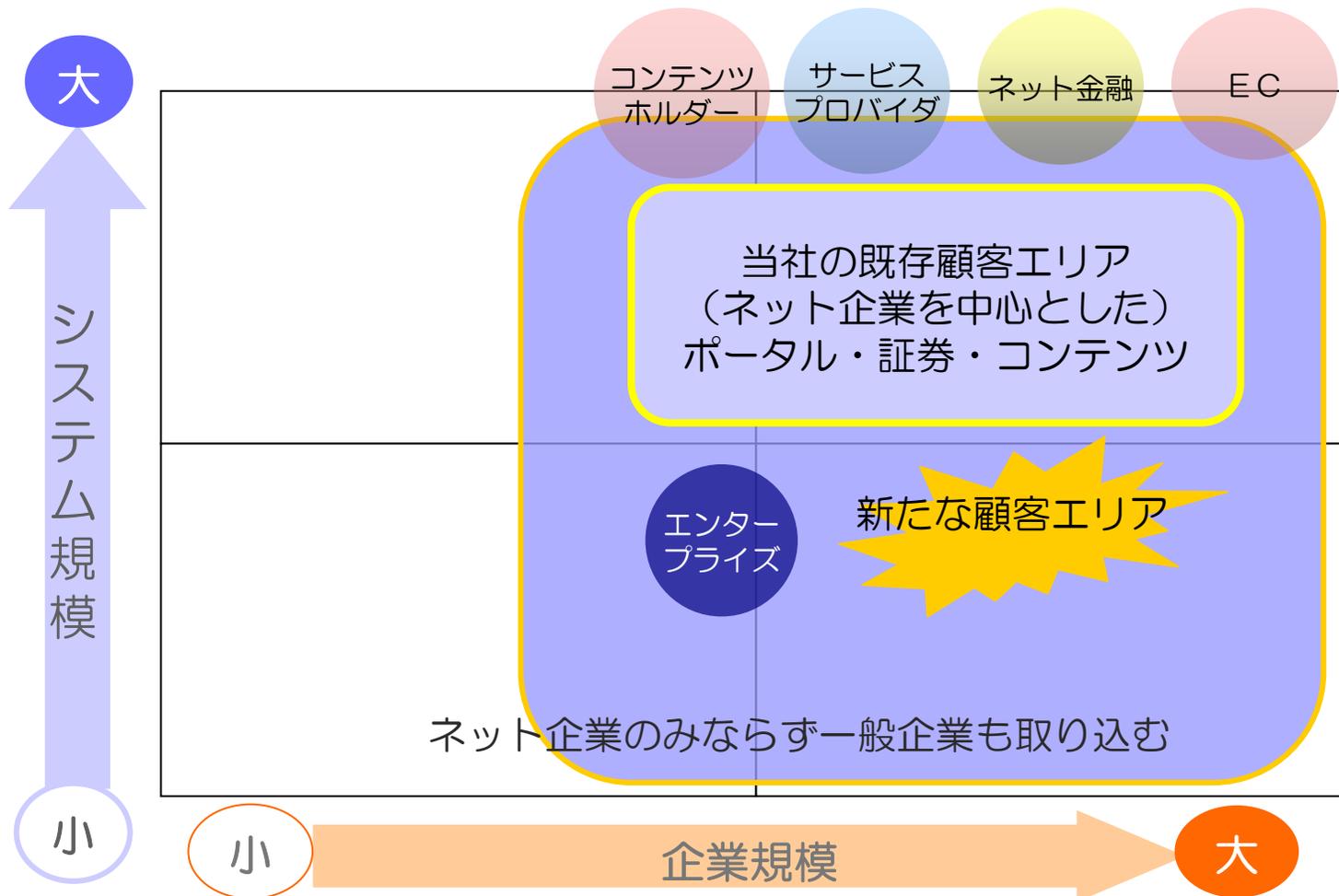
- ・第2サイトの拡張決定
(120ラック)
- ・関西第1サイト開設決定
(約300ラック)

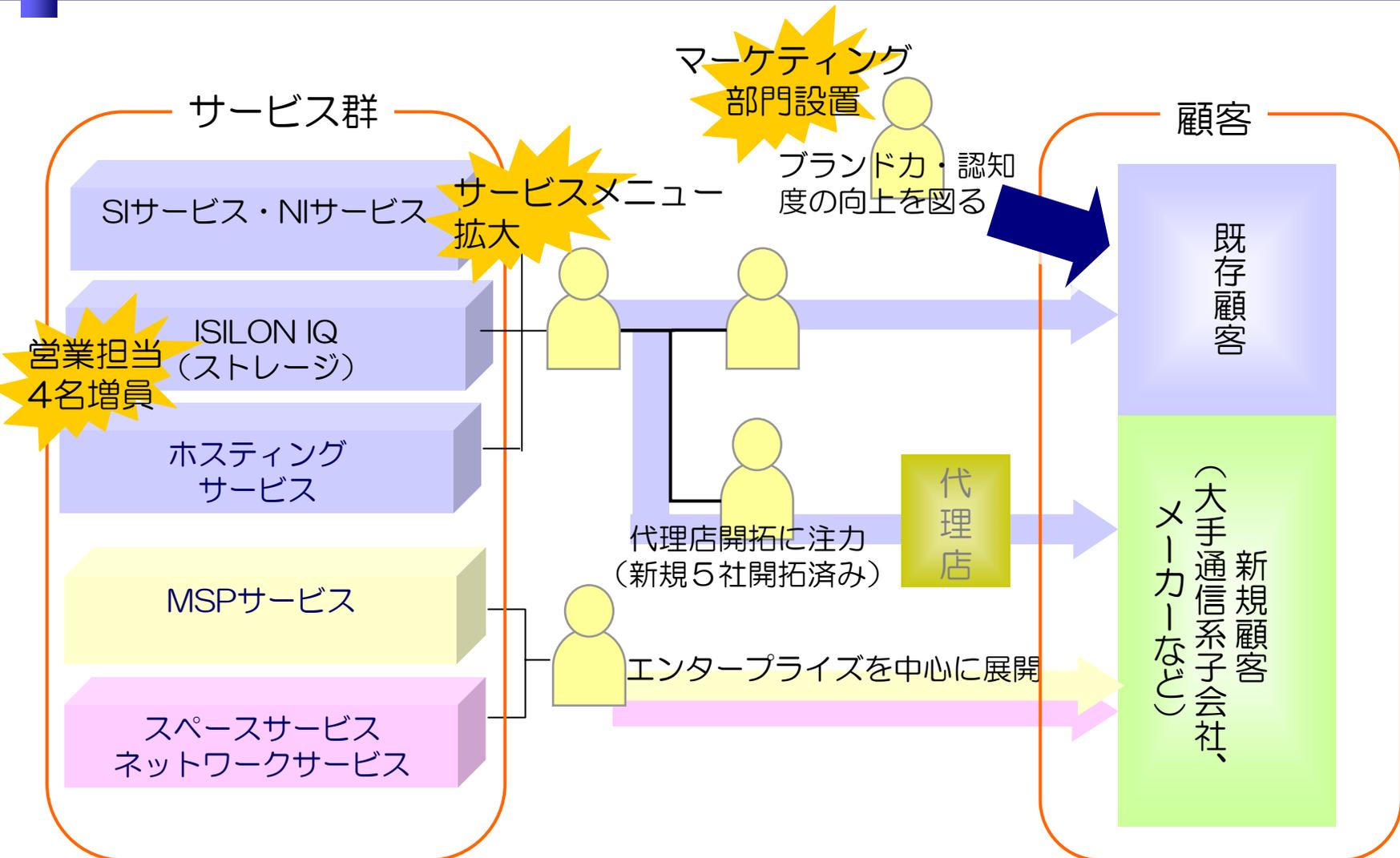
③データセンターの運用効率向上に向けた取組み

- ・中長期的に、サイト集約に向けた新たなサイト建設検討（都内）
- ・新しい電源供給（DC方式）の検討についてコンソシアムの立ち上げ

提供サービスの拡充により新たな顧客を獲得

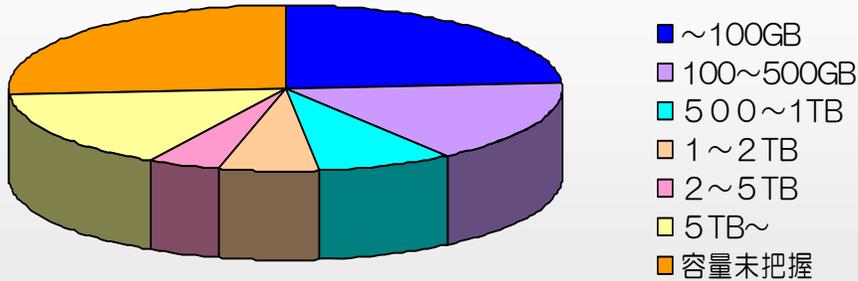
サーバーを所有または利用する企業へ裾野を拡大





(出典:JEITA)

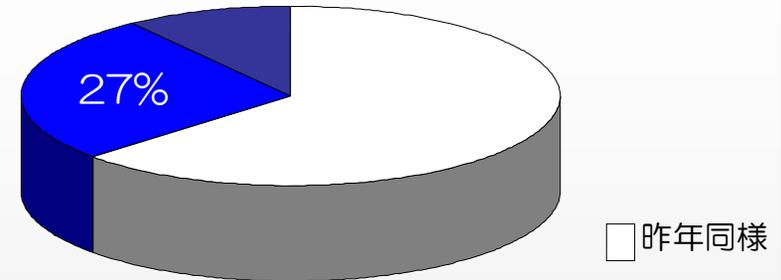
ストレージシステム使用容量



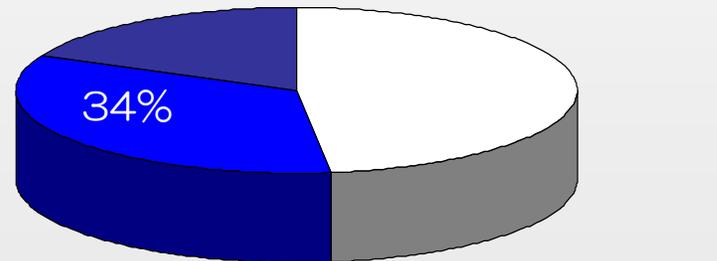
- ★金融・製造業ではすでに5TB以上が40%
※1TB(テラバイト)は1兆バイト
- ★容量増加の課題を抱えている企業は増加傾向へ

ストレージシステム投資計画

2003年



2004年



アイシロン社が提供している次世代対応クラスタストレージ製品「Isilon IQ」の販売代理店契約を締結、今期売上高5億円を目指す

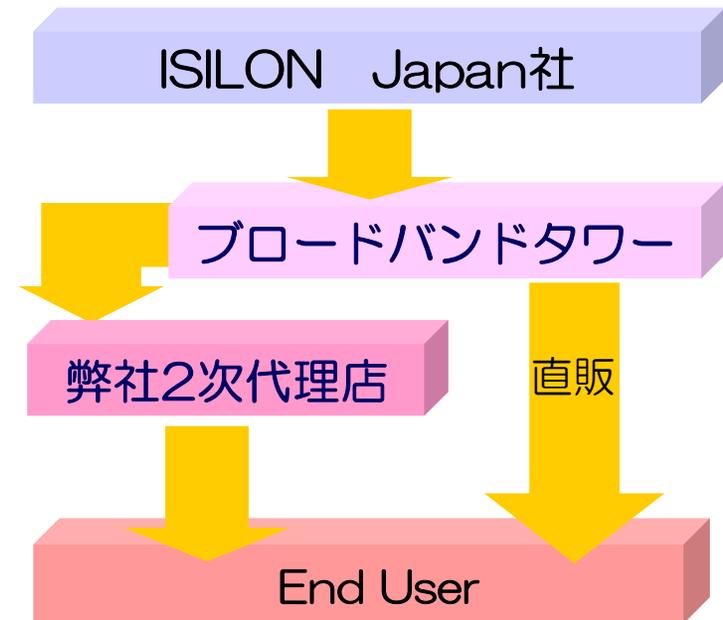
Isilon IQ



特長

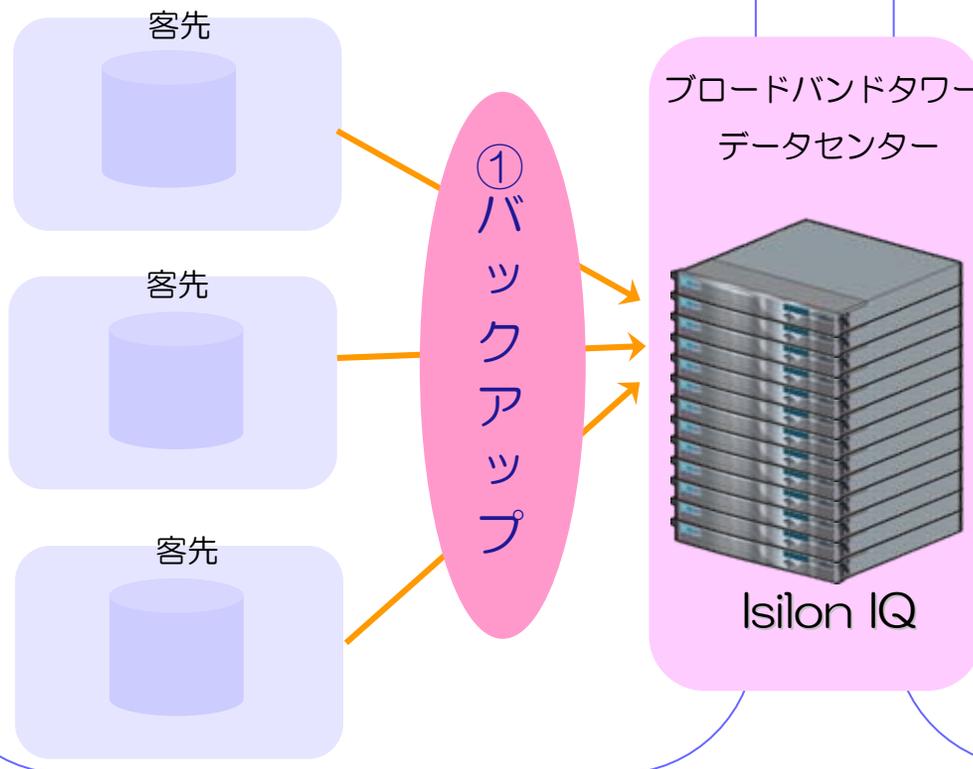
- ・大容量ストレージの構成に最適
- ・増大化するコンテンツ量にも柔軟に対応する拡張性
- ・業界初の高レベルでのデータ保護

商流



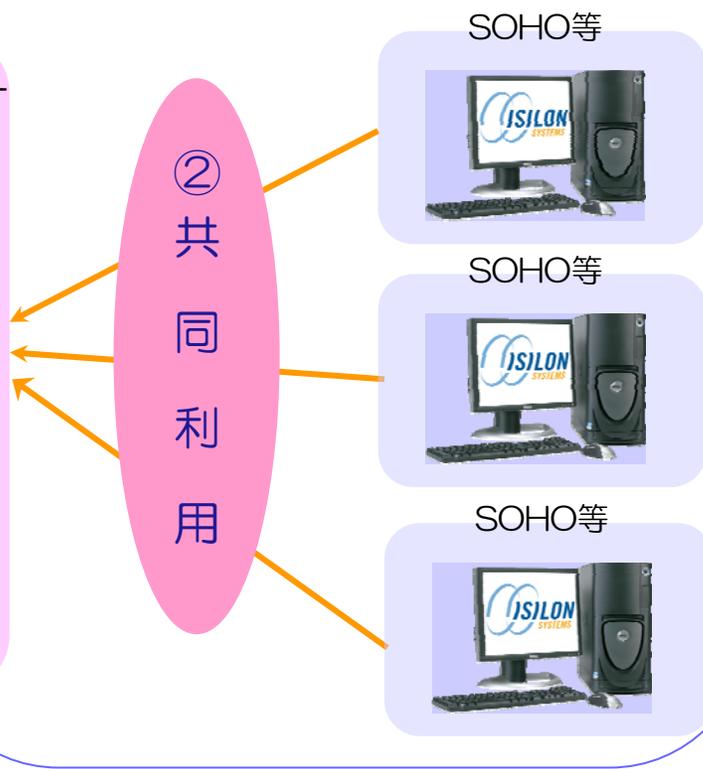
①バックアップソリューション

客先ファイルシステムのバックアップを
当社データセンター内にて行うソリュー
ション



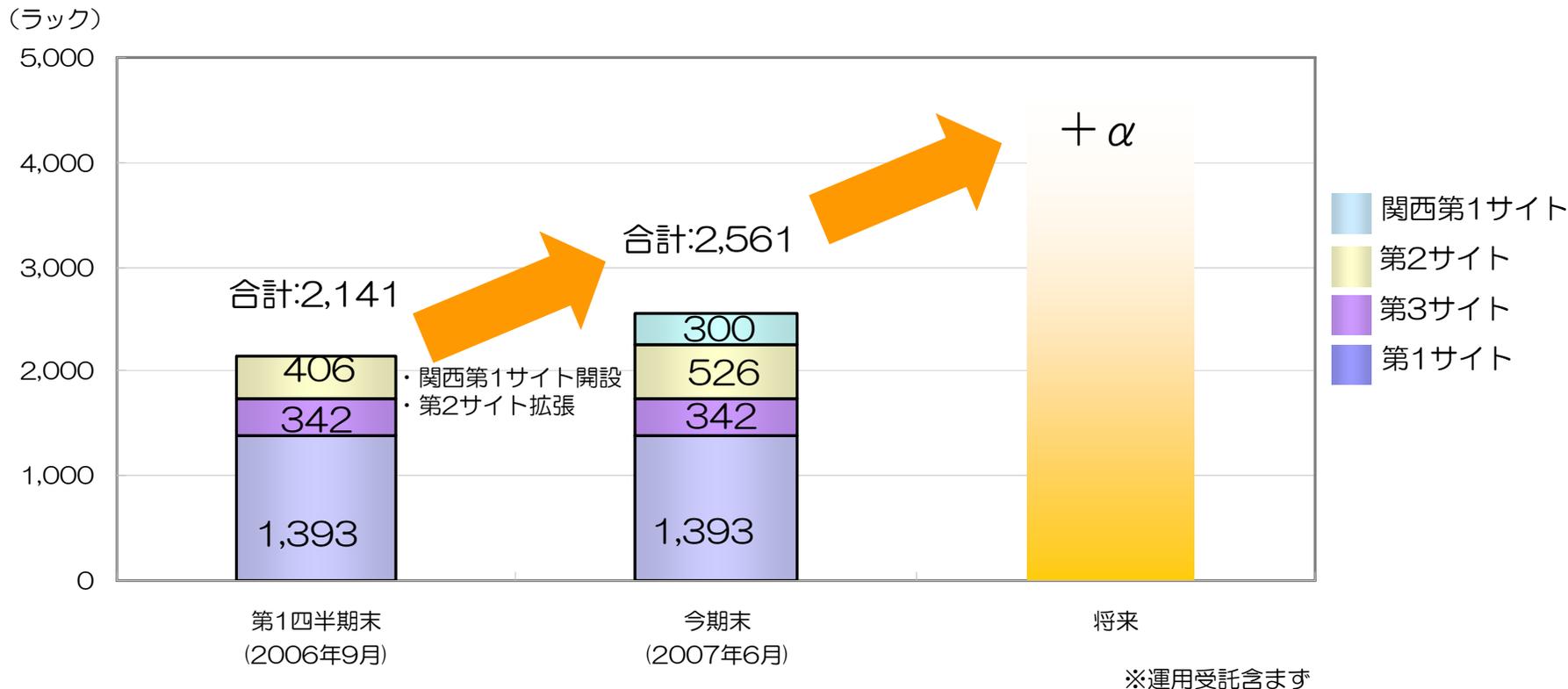
②FILE SYSTEM共有型ソリューション

大容量ファイルを中小規模ユーザーにて
共有するためのソリューション
(例:SOX法関連)



データセンター拡大への積極投資

- ・今期420ラックの拡大について見込み客数社と現在商談中
- ・ノンアセット型を推進してきたが、需要に対応し来期以降の自社センター開設を検討する



顧客の需要に対応して120ラックを増設

1、他社との差別化をはかるために以下の内容を検討

★ハードウェアスペックの差別化

- ・ラックの鍵強化
- ・耐加重や冷却効率の向上

★ネットワークのバンドル販売

- ・シェアード型ネットワーク帯域のバンドル
例) 上流1 Gbpsの回線を複数の顧客共有

★付加価値サービスのバンドル

- ・MSPやSIを含めた形での提供

2、今期設備投資額

★約200百万円



関西第1サイト300ラックを開設予定、現在数社と商談中

1、関西第1サイト開設経緯

・平成17年12月15日
ライブドア社向けに関西
第1サイト開設発表

中断

・平成18年6月28日
ライブドア社との合意
解約を発表

再開

・平成18年8月10日
今年度中に開設する方針決定

2、主な仕様変更点

- ★ラック数変更 500ラック ⇒ 300ラック
- ★入退館設備設置
 - ・複数社を収容可能にするため
- ★受付設置
 - ・入館カード、ラックキーの貸し出しのため
- ★コロケーション内ITVカメラ設置
 - ・セキュリティ強化のため
- ★スプリンクラー設置
- ★ファシリティ設備強化

3、今期設備投資額

★約1,600百万円

サービス領域拡大で
売上高8億円

①強固な収益基盤の構築

- ・ 顧客に提供するサービスメニューの拡大
- ・ 大手広告代理店を中心に販路拡大

②プラットフォームサービス強化

- ・ アパレル業界を中心にECプラットフォーム提供を積極展開
- ・ ドロップ SHIPPING サービスへの取組み

強固な収益基盤の構築

業種に特化したプラットフォームサービスの提供を強化
提供サービス

アパレルetc販売（自社サイト）



- 取扱いブランド80以上
- 月間平均40万PV以上

Web構築～配信



- インターネットでの本格ラジオ放送開始（J-WAVE）

プラットフォーム提供



- 大手アパレルサイト運営実施
- サイト運営増加

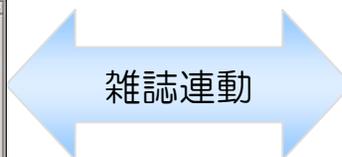


広告メディア（自社サイト）



- 癒し系サイト「RELAX28」OPEN

リラクゼーション情報とサービスを提供する専門情報サイト「RELAX28」を11月1日オープン



自社サイト運営で培ったノウハウを武器にECプラットフォームサービスを強化

今期の新たな取組み

顧客



個人サイト

販売委託 発注

サイト名義で商品発送

ドロップショッピングサイト

機能提供

提供サービス

マーチャндаイジング

課金決済システム

DRMシステム

ロジスティックス

Webサイトテンプレート

商品在庫・顧客情報管理

機能提供

アパレルを中心としたECプラットフォームの提供



- ・携帯サイトも含め3サイトに対してプラットフォーム提供中
- ・他、5サイトの受注が確定し、現在準備中

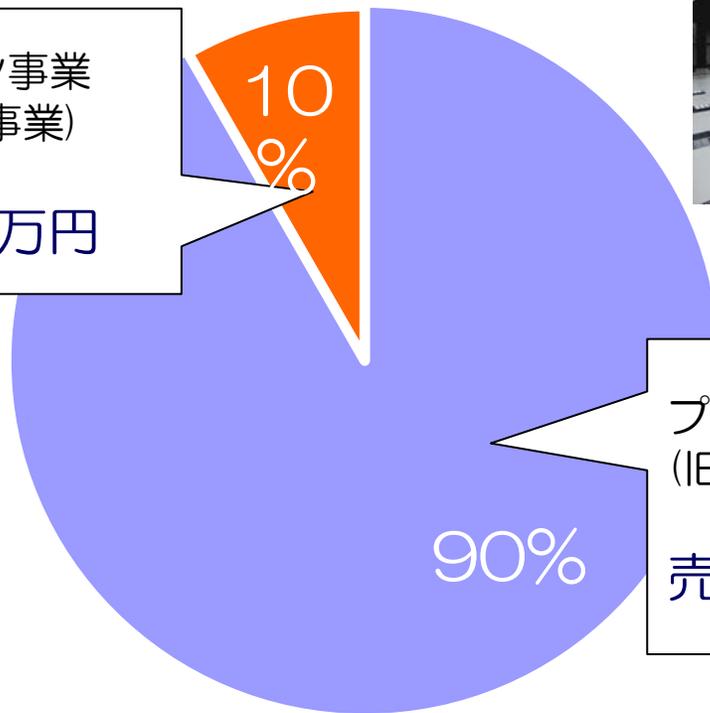
ご参考資料

会社名	株式会社ブロードバンドタワー
設立	2000年2月9日
所在地	東京都港区赤坂4丁目2-6 住友不動産新赤坂ビル7F
資本金	2,228,882,千円（2006年9月末現在）
事業内容	プラットフォーム事業 メディアソリューション事業
代表者	代表取締役会長 大和田 廣樹 代表取締役社長 中村 高根
売上高	72.9億円（2006年6月期）
発行済株式総数	96,955株（2006年9月末現在）
従業員数	68名（2006年9月末現在）

- 2000年 2月 グローバルセンター・ジャパン株式会社設立
- 2000年 4月 「虎ノ門サイト」サービスイン（第一サイトへ統合）
- 2000年 7月 「第一サイト」オープン
- 2001年11月 Meet Me Roomオープン
 - 「JPIX第2大手町サイト」オープン
- 2002年 4月 株式会社ブロードバンドタワーに社名変更
- 2004年11月 「第二サイト」オープン
- 2005年 8月 大阪証券取引所「ヘラクレス」へ上場
 - 9月 「第三サイト」オープン
 - 10月 インフォリスクマネージ株式会社と資本業務提携
 - 連結対象子会社 株式会社BBF設立
- 2006年 3月 西日本地区で国内最大級のデータセンター運用を受託
 - 10月 株式会社ブロードバンドタワーを存続会社とする吸収合併方式で株式会社ブロードバンドタワーPE（旧インデックスソリューションズPE）を吸収
 - アイシロン・システムズ社製品「ISILON IQ」の販売代理店契約締結

メディアソリューション事業
(旧ブロードバンド配信事業)

売上高 688百万円



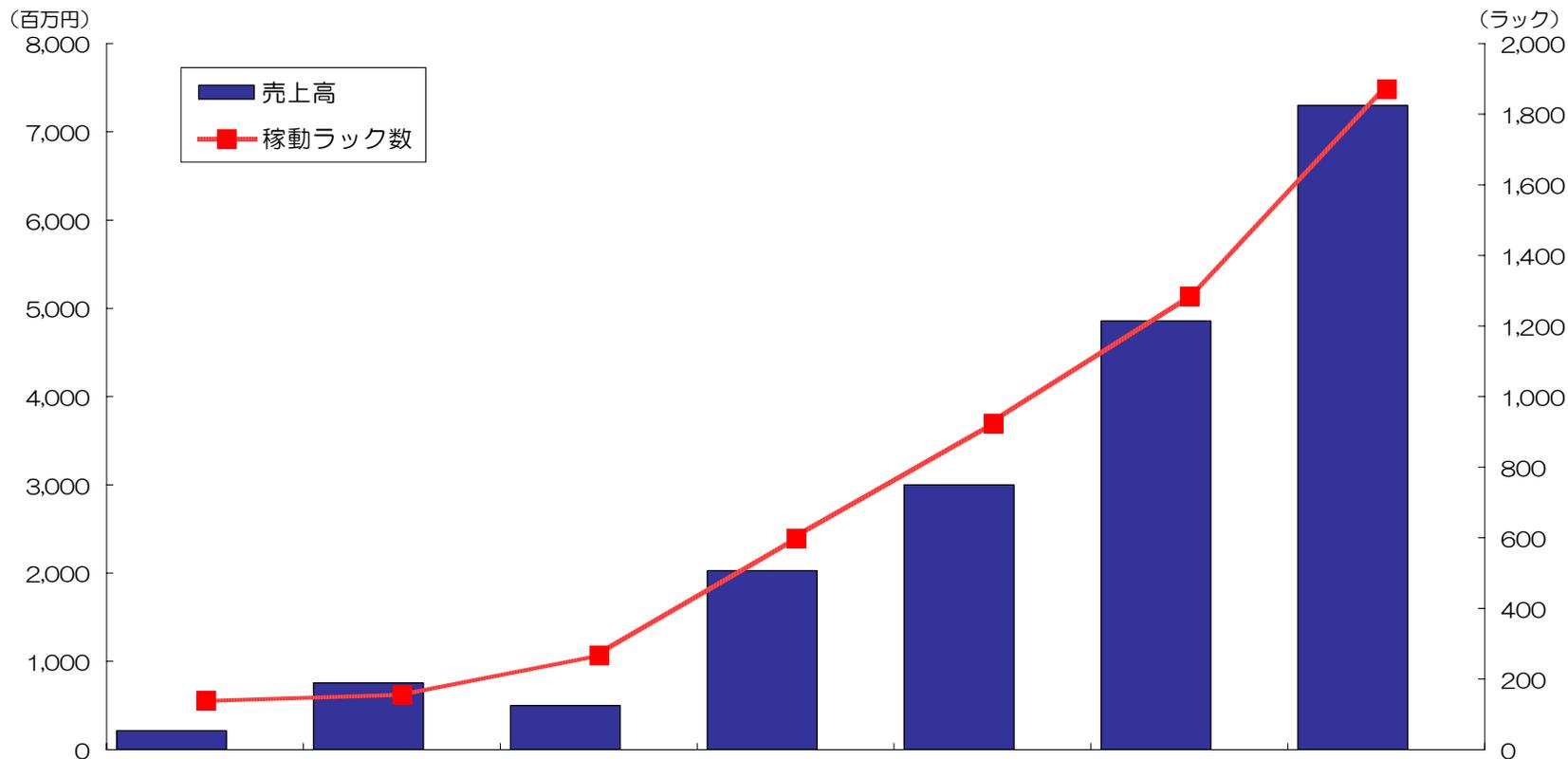
プラットフォーム事業
(旧データセンター事業)

売上高 6,605百万円



2006年6月期
7,294百万円 (連結)
(平成17年7月1日～平成18年6月30日)

売上高と稼働ラック数の推移

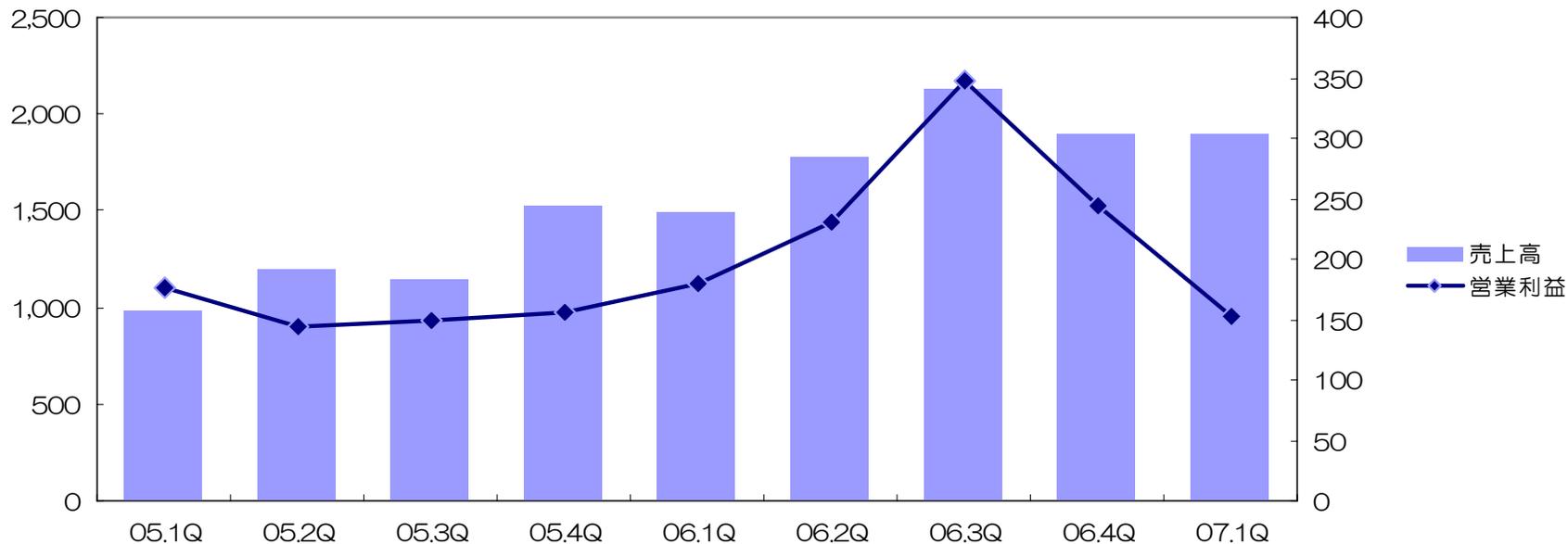


	2000年12月期	2001年12月期	2002年6月期	2003年6月期	2004年6月期	2005年6月期	2006年6月期
売上高	217	753	499	2,031	3,006	4,860	7,294
稼働ラック数	141	158	269	601	924	1,287	1,872

※2005年6月期以前は単体です

業績推移 (2005年6月期～2007年6月期)

(単位:百万円)



	05.1Q	05.2Q	05.3Q	05.4Q	06.1Q	06.2Q	06.3Q	06.4Q	07.1Q
売上高	987	1,201	1,142	1,529	1,495	1,779	2,127	1,891	1,892
営業利益	177	144	149	156	179	231	347	244	153
営業利益率	18%	12%	13%	10%	12%	13%	16%	13%	8%

※2006年6月期第1四半期以前は単体です

2006年6月期業績概要

売上高、営業利益ともに、過去最高を更新。

売上高（連結）・・・7,294百万円（前期同期比50%増）

営業利益（連結）・・・971百万円（前年同期比55%増）

	連結実績		単体実績				（ご参考）		（単位:百万円）			
	売上比 第7期通期実績	売上比 第7期通期実績	第1四半期 （3ヶ月間）	第2四半期 （3ヶ月間）	第3四半期 （3ヶ月間）	第4四半期 （3ヶ月間）	売上比 第7期通期実績	売上比 第6期通期実績		前年同期比 前年同期比増減	売上比 ※ 通期業績計画 （期首公表値）	
売上高	100%	7,294	1,495	1,778	2,105	1,843	100%	4,860	149%	2,363	100%	6,560
売上総利益	24%	1,786	361	397	554	464	25%	1,161	153%	616	21%	1,396
営業利益	13%	971	180	230	372	252	14%	627	165%	407	10%	640
経常利益	13%	950	164	227	372	251	14%	607	167%	409	9%	618
税引前当期純利益	12%	875	166	167	372	234	13%	581	162%	360	9%	568
当期純利益	14%	1,050	166	314	372	260	15%	613	182%	501	11%	700

2007年6月期(第8期) 業績計画

(単位:百万円)

株式会社ブロードバンドタワー 第8期損益計算書

<単体>

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	通期	(ご参考) 2006年6月期
売上高	1,830	2,330	4,160	2,450	2,870	5,320	9,480	7,223
プラットフォーム事業	1,800	2,230	4,030	2,300	2,720	5,020	9,050	6,605
スペースサービス	1,180	1,180	2,360	1,270	1,470	2,740	5,100	4,661
ネットワークサービス	240	280	520	290	310	600	1,120	961
ソリューションサービス	380	770	1,150	740	940	1,680	2,830	982
メディアソリューション事業	30	100	130	150	150	300	430	618
売上総利益	350	460	810	540	730	1,270	2,080	1,777
営業利益	128	161	289	278	468	746	1,035	1,035
経常利益	130	160	290	280	470	750	1,040	1,016
税引前当期純利益	1,890	160	2,050	280	470	750	2,800	941
当期純利益(損失)	1,890	-570	1,310	280	10	290	1,610	1,114

<連結>

	中間期	通期
売上高	4,280	9,880
経常利益	270	1,050
当期純利益(損失)	1,300	1,620

